

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	市の対応等	担当部局
1	淡路ヶ峠は桑原まちづくり協議会が中心となって登山道を整備している。たくさんの方が登っていただけるよう登山道をつくってほしい。 淡路ヶ峠は初代総理大臣伊藤博文の先祖ゆかりの地でもある。市の観光パンフにも掲載してほしい。	淡路ヶ峠については、地元の皆さんが主体となって登山道整備などに取り組んでいます。平成24年度には「地域の宝みがきサポート事業補助金」の活用により、ルート案内図や眺望景観図などを整備されました。 こうした住民の皆さんの主体的な活動に対し、市としてどのような支援が出来るか、まちづくり協議会などとも検討していきたいと思っております。 市ホームページや観光パンフレットの掲載については、更新・増刷の際に対応が可能と考えていますので、淡路ヶ峠の参考資料等をいただくなど、ご協力をお願いします。	産業経済部
2	消防分団の詰め所が老朽化している。桑原分団のポンプ蔵置所の修理若しくは建て替えは何年ぐらい先か。また、傾くとシャッターが開かなくなってポンプ車が出せないことも考えられる。施設を見直していただきたい。	ポンプ蔵置所については、昭和56年以前の旧耐震基準で建設された37箇所について、順次、耐震化を実施しています。 平成25年度は、新玉ポンプ蔵置所の耐震化を予定しています。現時点で、正円寺ポンプ蔵置所については平成27年度を予定しています。	消防局
3	市街化区域内の農地はどういう位置づけなのか。市はこの地区の農業をどのように考えているのか。 宅地並み課税で固定資産税が非常に高い。どうにかならないか。	市街化区域の農地は、まさに顔の見える農業であり、消費者の安全安心にも繋がり、都市の中で保水機能、オープンスペースの機能もあり重要な役割を果たしています。 近年、市民農園の需要も増加しており、例えば耕作放棄地を市民農園として開放するなどさまざまな展開が考えられます。 課税については、地方税法に基づき、宅地並みの評価をしていますが、平成15年度の法改正により、課税標準額の上限を評価額の3分の1とする特例が適用されています。	産業経済部 理財部
4	税金について、昔は松山市でも一括納税の割引をしていたが、検討していただけないか。	松山市では、以前、市民の納税意欲の向上と、税収の早期確保を図るため、前納報奨金制度がありましたが、市民の皆さんの納税意識の高揚により、所期の目的は達成されたため、昭和55年に廃止しました。 固定資産税は4期に分けての納付となっており、一括納付する方に割引をすると、資力のある人だけが優遇されるという不公平感が生じることや徴税経費を縮減する必要性などから、一括納付に対する割引制度を復活させることは困難です。	理財部
5	青少年育成支援委員をやっているが、会議や研修が昼間あり、負担が大きい。会議を夜間にするなど配慮をお願いしたい。	研修会については、これまで通り3回のうち1回は夜も開催することで、夜間の方が出席しやすい方への配慮を続けてまいります。	教育委員会事務局

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	市の対応等	担当部局
6	消防団も訓練とか研修が平日行なわれる。できれば土曜日など休みのときにするとか一般市民の負担がかからないようにしていただくと団員も集めやすい。	消防出初式、消防ポンプ操法大会、松山市水防訓練、教育訓練会など本市が主催する行事については、土、日曜日に実施しており、引き続き、土、日曜日での開催を計画します。	消防局
7	福祉センターグラウンドについて、近くには大護幼稚園もあり、きらりの森、児童館も併設されているので芝生化をお願いできないか。	芝生化に不可欠な灌水用水の確保について、畑寺福祉センターには雨水貯留設備を設置していますが、平成24年5月から8月の間は雨水が不足し、上水道から水を補給した状況です。また、地下水の利用について、平成24年3月にボーリング調査を行いました。利用可能な水量がなく、グラウンドの芝生化は困難です。	保健福祉部
8	三町の避難場所が北久米小学校になっているが、道も狭く倒壊があるととても最後までいけないと思う。東野下ではひがしの北公園が一時避難場所になっているが、東側に池があって土手が決壊したら水が襲ってくる。一時避難場所を公園から分館に変更できないか。	避難所については、市民が避難時に危険を回避でき、また、高齢者などの体力的な負担軽減も考慮し、できるだけ多くの施設やグラウンド、空地などを一時避難所や避難所として指定しています。 災害の形態や、施設の構造、被災の状況などにより避難所を使い分けることとしており、開設にあたっては、安全が確認できた施設を避難所とするなどの周知を図っています。今後、各避難所の耐震性や立地条件などの状況把握に努め、耐震性能に不安がある施設などの指定解除も含め再検討し、整理したうえで、今年度修正予定の地域防災計画や防災マップに反映していきたいと考えています。	総合政策部
9	今日の福祉センターはバリアフリーなので気楽に来れたが、施設のバリアフリー化についてはどうお考えか。	桑原公民館については、平成26年度に実施予定の耐震化工事と合わせて、バリアフリー化工事(トイレ改修、段差解消等)を予定しています。	教育委員会事務局
10	松山市の総合防災訓練などで災害時の要援護者の救助については想定されているが、避難所でのシュミレーションとかボランティア受け入れ態勢までシュミレーションしていたほうがいいと思う。	平成24年8月に福祉避難所での総合防災訓練で、災害時要援護者の受入、受付、誘導、対応等のシミュレーションを実施しました。 また、図上訓練において、避難所開設、運営のシミュレーションも実施しています。今年度も、総合防災訓練や、図上訓練など様々な機会を捉え、ボランティア受け入れなども含めたシミュレーションを実施していく予定です。	総合政策部
11	国民健康保険の保険料が高い。高額医療の助成制度も制限があると思う。世帯で一定の金額を超えれば助成していただくことはできないか。	松山市の国保会計は、高齢化と医療の高度化による保険給付費の増や、介護納付金、後期高齢者支援金等の増加が続いており、今後も、厳しい財政状況が見込まれます。 平成25年度については、決算状況や今後の保険給付費の推移を見守るため、料率を据え置くこととしました。 国において、国保制度の改善が議論されており、高額療養費等の見直しについても検討されており、その状況を踏まえて対応することとしています。	保健福祉部